

自閉スペクトラム症における

感覚処理障害と対人社会性の関係についての研究

花ノ木医療福祉センター小児科では、感覚処理障害のある自閉スペクトラム症の患者さんを対象に臨床研究を実施しております。

実施にあたり花ノ木医療福祉センター倫理審査委員会の審査を受け、機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

自閉スペクトラム症は対人コミュニケーションの困難と特定の物や行動に対する反復性やこだわりなどの特徴を持つ、複雑な神経発達症です。

多くの患者さんで併存する感覚の症状（感覚処理障害）が認められ、生活のしづらさや、養育のしづらさに直結していますが、これまでの自閉スペクトラム症の研究では対人コミュニケーションの特徴についてばかりが重要視されてきていました。最近では徐々に感覚処理障害についての報告も増えてきましたが、まだ分かっていないことが多く、治療法も限られています。そこで今回の研究では、感覚処理障害をお持ちの自閉スペクトラム症の患者さんのうち、両症状についての質問紙検査を回答された患者さんを対象に、対人コミュニケーションの特徴の強さと感覚処理障害の重症度についてどのような関係があるのかを調査することにより、今後の診断や治療に生かすことが出来ると考えています。まだまだ情報が少ない分野であり、多くの患者様・ご家族のご協力をお願い致します。

研究の方法

・対象となる方について

2019年2月から2023年10月までの間に当院で自閉スペクトラム症と診断された患者さんのうち感覚処理障害を併発していた方で、両症状に対して質問紙検査を回答された患者さんにご協力をお願いしています。

・ **研究期間**： 花ノ木医療福祉センター倫理審査委員会承認後から2024年3月31日。上記患者様の2023年10月31日までの診療情報（入院及び外来通院に関するカルテ情報）を収集致します。

・方法

上記の対象となる患者さんのうち、感覚処理障害についての質問紙（日本版感覚プロフィール）と自閉スペクトラム症の質問紙（親面接式自閉スペクトラム症評定尺度テキスト改訂版（PARS-TR））を受けられた方について、診療録（カルテ）より以下の情報を取得し

ます。感覚処理障害の重症度と対人社会性の特徴の強さとの関連性を調べます。

・研究に用いる情報について

年齢、性別、薬物治療の有無、発達指数、日本版感覚プロファイル得点、親面接式自閉スペクトラム症評定尺度テキスト改訂版（PARS-TR）得点、等

・個人情報の取り扱いについて

患者さんの検査結果、カルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。

なお、この研究で得られた情報は研究責任者（花ノ木医療福祉センター医師・高井あかり）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・情報の保存および二次利用について

カルテから抽出した情報は原則としてこの研究のために使用し結果を発表したあとは、花ノ木医療福祉センターにおいて研究責任者（医師・高井あかり）の下、研究終了報告日から5年又は研究結果の最終公表日から3年まで保管します。

保存した情報を用いて将来新たな研究を行う際は、あらためてその研究計画を医学倫理審査委員会で審査し承認を得ます。

研究組織

・研究責任者：

高井 あかり 花ノ木医療福祉センター 小児科 医師

・研究担当者：

寺田 直人 花ノ木医療福祉センター 病院長

板垣 正樹 花ノ木医療福祉センター リハビリテーション課

弓削 マリ子 花ノ木医療福祉センター 小児科 医師

お問い合わせ先

患者さんのご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧

することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2023年12月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

花ノ木医療福祉センター

職・氏名 医師・高井 あかり

電話：0771-23-0701